

司法支援建築会議運営委員会議事録

(2012年度第4回)

(記録：事務局)

A. 日 時：2013年3月27日(水) 15時～17時

B. 場 所：日本建築学会会議室

C. 出席者：委員長 上谷宏二

委 員 有馬 賢 宇於崎勝也 小野徹郎 柿崎正義 荻谷邦彦 神田 孜
杉山義孝 鈴木計夫 田中淳夫 松原忠策 松本光平 山口昭一
山本康弘(敬称略)

D. 提出資料

資料 No.4-1 運営委員会議事録(案)(12月21日)

資料 No.4-2 最高裁第15回建築関係訴訟委員会、第21回建築関係訴訟委員会分科会事前配布資料

資料 No.4-3 秋田地裁大館支部、名古屋地裁への鑑定人候補者推薦

資料 No.4-4 司法支援建築会議第5回建築紛争フォーラム(案)

資料 No.4-5 第14回司法支援建築会議講演会「契約を巡る建築紛争の実態と対応」(案)

資料 No.4-6 会報第12号編集企画(案)

資料 No.4-7 司法支援建築会議近畿支部運営要領(案)、幹事会名簿

資料 No.4-8 原子力損害賠償紛争解決センターとの打ち合わせ会メモ(第2回)、連絡メール、「修補費用の調査」(山本委員)

資料 No.4-9 名誉司法会員候補者(案)、功労者候補者(案)、感謝状贈呈候補者(案)

資料 No.4-10 司法支援建築会議全体会議次第(案)・司法支援建築会議全体会議シンポジウム企画(案)

資料 No.4-11 司法支援建築会議会員候補者申込書

資料 No.4-12 今年度の運営委員会開催日程(案)

資料 No.4-13 建築設計契約の紛争リスクに関する研究(その1小規模建築プロジェクトの場合)(素案7)

E. 前回議事録案(3月27日)の確認

事務局から前回議事録案の確認がなされ承認した。

F. 報告事項

1. 最高裁「建築関係訴訟委員会」の開催

上谷委員長より、同委員会の以下の主な議事内容が紹介された。

①最高裁・当会議の「若手の会」の報告

②当会議支部と各地の地裁との連携

③調停・鑑定的事案に即した専門家を選任する方策

2. 部会等報告

(1) 支援部会

田中部会長から、以下の鑑定人候補者の推薦について報告があり承認された。

- ①小林 淳氏（秋田県立大学）→秋田地裁大館支部
- ②津川恒久氏→名古屋地裁

(2) 調査研究部会

松本部会長から、部会で検討中である「建築設計契約の紛争リスクに関する研究-その1 小規模建築物プロジェクトの場合)」について報告がなされた。

検討の結果、ご意見がある場合には、事務局まで文書でお寄せいただくこと、また広く公開してご意見をいただくために第14回司法支援建築会議講演会の主題解説で報告いただくことにした。

なお、この報告書の読者対象（→会員、裁判官）や公開方法、今後の展開について様々な意見が出されたが、今回の報告書を当会議のHP「失敗の博物館」から公開することにより一応終了とし、出版等の次のステップについては改めて検討することにした。

(3) 普及・交流部会

柿崎部会長から、以下の報告がなされた。

1) 第5回建築紛争フォーラム企画案

当会議北海道支部で企画を検討している。テーマは「積雪寒冷地における建築紛争の現状と課題」。紛争事例を取り上げた企画の検討をお願いしている。なお、「まとめ・閉会挨拶」は支部の方をお願いするよう井野支部運営委員長にお伝えすることにした。

2) 第14回司法支援建築会議講演会企画

普及・交流部会で企画を検討中である。テーマは「契約を巡る建築紛争の実態と対応」

3) 第12号会報企画

今年も8月中に刊行する予定で準備を進めている。

(4) 修補工事費見積り検討小委員会

池永委員が欠席のため、山本委員から同小委員会が検討している報告書の進捗状況について、原稿もほぼ完成しており、今年度中に運営委員会に提出したいとの報告がなされた。

G. 審議事項

1. 司法支援建築会議近畿支部の設置申請

鈴木委員より、当会議近畿支部の設置について、支部運営要領、支部運営委員会メンバーの説明がなされ、検討の結果設置が承認された。

2. 原子力損害賠償紛争解決センターからの依頼

上谷委員長より、2月1日の原子力損害賠償紛争解決センターとの打ち合わせ内容（当支援会議からの専門委員派遣の条件、依頼のプロセス等）、その後のセンターと事務局との連

絡内容、ならびにセンターに示した「修補費用の調査」（修補費用について専門的調査を行う場合の調査項目・費用等）について説明がなされた。さらに、事務局より、現在センターでは専門委員派遣依頼の条件を検討中であり、本日段階ではまだ回答がきていないとの報告がなされた。

（意見）

- ①調査方法や項目については、当会議から推薦する専門委員がセンターと相談して決めればよいのであり、当会議があまり厳密に決めても意味がないのではないか。
- ②事例が積み重なれば、調査方法等について横並びの根拠が必要になろう。

3. 「名誉司法会員」「功労者」「感謝状贈呈者」の候補者

上谷委員長より、名誉司法会員候補者、功労者候補者、感謝状贈呈候補者の選考結果の報告がなされ、承認された。

なお、以下の意見が出されたため選考委員会において改めて検討することにした。

- ①当会議会員に対する表彰制度の事前周知がなされていない
- ②退会された会員で、ある期間会員として貢献されたのに今回の制度の対象とならないことの不公平

4. 全体会議ならびにシンポジウム開催

上谷委員長より、全体会議の議事進行ならびにシンポジウムの企画内容、その後の祝賀会の開催について説明がなされ、承認された。なお記録を宇於崎委員、まとめ・閉会の挨拶を田中委員にお願いすることにした。

5. 司法支援建築会議会員の登録申請

事務局より、松田真人氏、東 利博氏、山本明恵氏、塚田芳久氏、横山 隆氏、白田 稔氏、向山松秀氏、須藤力弘氏、今泉数則氏、阿部信行氏の 10 名の登録申請書の説明がなされ、検討の結果会員登録を承認することとし、4 月理事会に委嘱願いをすることにした。

6. 2013 年度開催スケジュール

- ・第 1 回：2013 年 7 月 26 日（金）15 時～17 時
- ・第 2 回：11 月に開催、日時は次回決定
- ・第 3 回：2014 年 3 月中に開催

H. 次回

- ・日時：2013 年 7 月 26 日（金）15 時～17 時
- ・場所：建築学会会議室
- ・議題：部会報告等

以上